

安倍政権・財界の低賃金・労働者使い捨て政策に対抗し、 「8時間働けば生活できる賃金を！」

1 8けんり春闘発足集会に結集を！ 11月27日(月) 18:30 全水道会館 四階 大会議室

11月1日、解散総選挙の結果を受けて第4次安倍内閣が誕生した。8月3日に内閣を改造し「仕事人内閣」と自称した面々がそのまま横滑りして新たな内閣を発足させたものである。しかし、安倍首相のモリ・カケ疑惑追求から逃れるために一度も国会は開催されず、各大臣はその所信を一度も明らかにすることなく「仕事しないかく」とも呼ばれてきた。

ところで特別国会を11月1日に開会したものの、国会では論争が始まるどころかまだ安倍首相の所信表明もない。12月9日までと予定されている会期の三分の一を経過している。

この間、平均株価は23,000円を前後し、バブル期の株価を回復したとされている。企業の現金・預金はアベノミクス前と比較して30%増の211兆円となり、株主配当は70%増となっている。株価を維持するために日銀による無制限な株式買い入れは日本の主要企で筆頭株主となり、あたかも国営企業と見まがうばかりの状況となっている。安倍首相もさぞかし景気の良い話に浮かれたのかトランプ大統領の娘であり、補佐官のイバンカ氏が設立した基金に国民の税金を使って57億円を拠出することを表明した。国家財政は1,000兆円を超す財政赤字を抱え、福祉を切り捨てるばかりか2019年には消費税の引き上げ、労働者市民へ痛みを押しつけようとしているのであるが・・・。

労働者市民には「働き方改革」と詐称して「低賃金、定額働かせ放題」

ところが労働者はひどい仕打ちを受け続けている。企業の内部留保の増大に反比例して労働分配率は下がり続け、人件費は5年前から1%しか増えていない。そして長時間労働による過労のために脳心疾患や精神疾患を罹患した労働者の労災認定は2014年以降更に増加している。

また、「下流老人」や「子どもの貧困」という言葉を誰もが知っているような社会となり、有効求人倍率がバブル期並みの1.5倍を記録しているものの、生活保護を受けている世帯は164万世帯をこえて増え続け、非保護実人員は210万人を超えて高止まりしているのである。そして非正規雇用労働者は全労働者

の37.5%（17年8月）となっているのである。

そして通常国会には定額働かせ放題とされる残業代ゼロ法や裁量労働制の拡大を行なおうとする労働基準法改悪一括法案の提出が予定され、政府与党の数の力を背景にしてごり押し・強行採決も危惧されている。そして安倍9条改憲策動も進んでいる。

18春闘はこうした日本社会の歪な経済状況と貧困と格差に苦しむ労働者市民の現状を反転させるために安倍政権と財界にどう対決していくのか問われるものとなる。

全労協は例年のように、全港湾や全造船関東地協、全日建連帯、中小労組政策ネットなどの仲間とともに、18けんり春闘を形成して共同の闘いを作り、「8時間働けば生活できる賃金」を誰でも享受できるように奮闘することを確認し、準備を進めてきた。12月7日の結成総会を成功させ、日本労働弁護団とともに、労働法制改悪に反対する大きな闘いを作り出していく。

= 当面面の取組 =

11月18日(土) 14:00 SKプラザ

第27回全労協女性委員会総会

「闘う女たち！大集合 非正規差別をなくそう！」

11月19日(日) 14:00 衆議院第二議員会館前

安倍9条改憲を許さない、森友・加計学園疑惑徹底追及、
安倍内閣の退陣を要求する11・19国会議員会館前行動

11月27日(月) 18:30 全水道会館 大会議室

18春闘発足・学習集会

「8時間働けば生活できる賃金を！」

講師：上西充子氏（法政大学教授）

11月30日(木) 18:30 全水道会館

全労協脱原発集会

12月7日(木) 18:30 日比谷野外音楽堂（銀座デモ）

「8時間働けば誰でも暮らせる社会を！」

～働き方会各区手なんだろう？～

主催：日本労働弁護団

12月19日(火) 18:30 衆議院第二議員会館前

安倍9条改憲を許さない、安倍内閣の退陣を要求する国会議員会館前行動